

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成29年03月24日

計画の名称	インターチェンジや新幹線駅等へのアクセス性向上を図る街路整備												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	八戸市,青森県												
計画の目標	東北新幹線新青森駅、青い森鉄道筒井駅、東北縦貫自動車道ICへのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る。 東北新幹線八戸駅、JR八戸線本八戸駅、東北縦貫自動車道ICへのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,663	A	7,509	B	0	C	154	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	20%	20%	23%
2	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森IC・青森中央IC・青森東IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	41%	41%	41%
3	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅、JR本八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	21%	23%	23%
4	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車八戸IC・八戸北IC、八戸久慈自動車道八戸是川IC、第二みちのく有料道路三沢十和田下田IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積 / 市街化区域面積又は用途地域面積 × 100	23%	23%	24%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	改築	八戸駅西地区(3・4・27号松森高田線外)(21-A1)	区画整理 A=96.7ha	八戸市						65		-
	A01-002	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	改築	八戸駅西地区(3・1・1号八戸駅西中央通り線外)(21-A2)	区画整理 A=96.7ha	八戸市						2,713		-
	A01-003	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(石江)(21-A3)	街路整備 L=1.4km	青森市						337		-
	A01-004	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・24号筒井大矢沢線(21-A4)	街路整備 L=0.3km	青森市						274		-
	A01-005	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・1号沼館三日町線(21-A5)	街路整備 L=0.7km	八戸市						870		-
	A01-006	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線(尻内)(21-A6)	街路整備 L=1.3km	八戸市						3,250		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											小計						7,509			
											合計						7,509			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	計画調 査	駅前広場基本計画設計（2 1-C1）	駅前広場基本計画設計	八戸市						14		-	
		区画整理事業と一体的に実施し、駅周辺地区の機能向上を図ることを目的として、駅前広場の基本計画設計を実施する																		
	C01-002	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	施設整 備	案内板設置、ベンチ設置 、シェルター設置（21-C2 ）	案内板設置等 N=1式	八戸市						140		-	
		区画整理事業による街路整備と併せ、乗車場案内板設置等の駅前広場整備を行うことにより、交通拠点（東北新幹線・八戸駅）との連絡強化を支援する。																		
											小計						154			
											合計						154			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	561	459	517	699	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	561	459	517	699	
前年度からの繰越額 (d)	318	264	326	342	
支払済額 (e)	615	361	501	792	
翌年度繰越額 (f)	264	326	342	249	
うち未契約繰越額(g)	137	260	134	19	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	36	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	15.58	40.94	15.89	1.82	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事施工上障害となる家屋の撤去・移転に係る補償協議に不測の日数を要したため	用地交渉中の地権者が亡くなり、交渉が中断し、地権者および借地人の移転協議に時間を要したため	河川協議に不測の日数を要し、工事着手が出来なかったため		

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成29年03月24日

計画の名称	都市内交通の円滑化と拠点への連絡強化を促進する街路整備												
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	青森市,弘前市,黒石市,青森県,三沢市,むつ市												
計画の目標	東北縦貫自動車道IC、東北新幹線新青森駅への連絡強化を促進し、都市内交通ネットワークの形成を図る。 弘前市中心市街地の主要幹線道路の整備によるネットワークを形成し、交通渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上を図る。 地域内の高規格幹線道路ICおよび国道間の連絡強化を図るとともに、東北新幹線八戸駅へのアクセス向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,949	A	7,932	B	0	C	17	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.21	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	20%	20%	23%
2	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森IC・青森中央IC・青森東IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	41%	41%	41%
3	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 市街地中心部(弘前市土手町)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	31%	32%	32%
4	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅、JR本八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	21%	23%	23%
5	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道八戸IC、八戸北IC、八戸久慈自動車道八戸は川IC、第二みちのく有料道路三沢十和田下田IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積 / 市街化区域面積又は用途地域面積 × 100	23%	23%	24%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

計画の成果目標（定量的指標）				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
6	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 八戸市民病院へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	23%	24%	24%
7	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 市中心部（むつ市役所）へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積 / 市街化区域面積 × 100	11%	11%	11%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・2・2号内環状線(浜田) (22-A1)	街路整備 L=0.6km	青森市						2,847		-
	A01-002	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・4・3号蛸貝八重田線(奥野2) (22-A2)	街路整備 L=0.3km	青森市						27		-
	A01-003	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	3・4・16号油川岡町線(22-A3)	街路整備 L=0.7km	青森市						49		-
	A01-004	街路	一般	弘前市	直接	弘前市	S街路	改築	3・4・6号山道町樋の口町線 (22-A4)	街路整備 L=0.2km	弘前市						73		-
	A01-005	街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3・4・7号黒石環状線(22-A5)	街路整備 L=0.9km	黒石市						230		-
	A01-006	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線(中居林) (22-A6)	街路整備 L=0.6km	八戸市						180		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線(尻内)(22-A7)	街路整備 L=1.3km	八戸市						159	-	
	A01-008	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・3号中央町金矢線(22-A8)	街路整備 L=1.6km	おいらせ町、三沢市							1,465	-
	A01-009	街路	一般	三沢市	直接	三沢市	S街路	改築	3・4・4号春日台十和田線(22-A9)	街路整備 L=0.8km	三沢市、六戸町							176	-
	A01-010	街路	一般	むつ市	直接	むつ市	S街路	改築	3・4・1号横迎町中央2号線(22-A10)	街路整備 L=1.0km	むつ市							1,399	-
	A01-011	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	改築	8・7・2号青森駅自由通路(22-A11)	街路整備 L=0.2km	青森市							63	-
	A01-012	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(石江)(22-A12)	街路整備 L=1.4km	青森市							323	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・1号沼館三日町線(22-A13)	街路事業 L=0.7km	八戸市						936	-	
	A01-014	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・20号紺屋町野田線(2-A14)	街路整備 L=0.9km	弘前市						5	-	
											小計							7,932	
											合計							7,932	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	609	208	580	230	
計画別流用増 減額 (b)	0	63	0	0	
交付額 (c=a+b)	609	271	580	230	
前年度からの繰越額 (d)	392	320	146	296	
支払済額 (e)	671	445	460	441	
翌年度繰越額 (f)	320	146	266	85	
うち未契約繰越額(g)	42	127	21	7	
不用額 (h = c+d-e-f)	10	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	5.19	21.48	2.89	1.33	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		関係機関との協議に不測の日数を要したため			

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月20日

計画の名称	通学路の安全を確保する街路整備（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	青森県, 弘前市, 黒石市												
計画の目標	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置付けられた通学路の整備を促進し、安全・安心な通学路を確保する												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,867	A	4,867	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置付けられた通学路の整備率を62.0%にする 緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置付けられた通学路の整備率 (整備率) = (対策済み箇所延長) / (要対策箇所延長) × 100	0%	57%	62%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・3号蛸貝八重田線(筒井)(24-A1)	街路整備 L=0.4km	青森市						1,312	-	
	A01-002	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・4号堤町通り浜田線(奥野)(24-A2)	街路整備 L=0.5km	青森市						1,986	-	
	A01-003	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・3号下白銀町福田線(高崎)(24-A3)	街路整備 L=1.2km	弘前市						297	-	
	A01-004	街路	一般	弘前市	直接	弘前市	S街路	改築	3・4・6号山道町樋の口町線(24-A4)	街路整備 L=0.1km	弘前市						40	-	
	A01-005	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・20号紺屋町野田線(24-A5)	街路整備 L=0.9km	弘前市						335	-	
	A01-006	街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3・4・7号黒石環状線(24-A6)	街路整備 L=0.9km	黒石市						897	-	
											小計						4,867		

交付金の執行状況

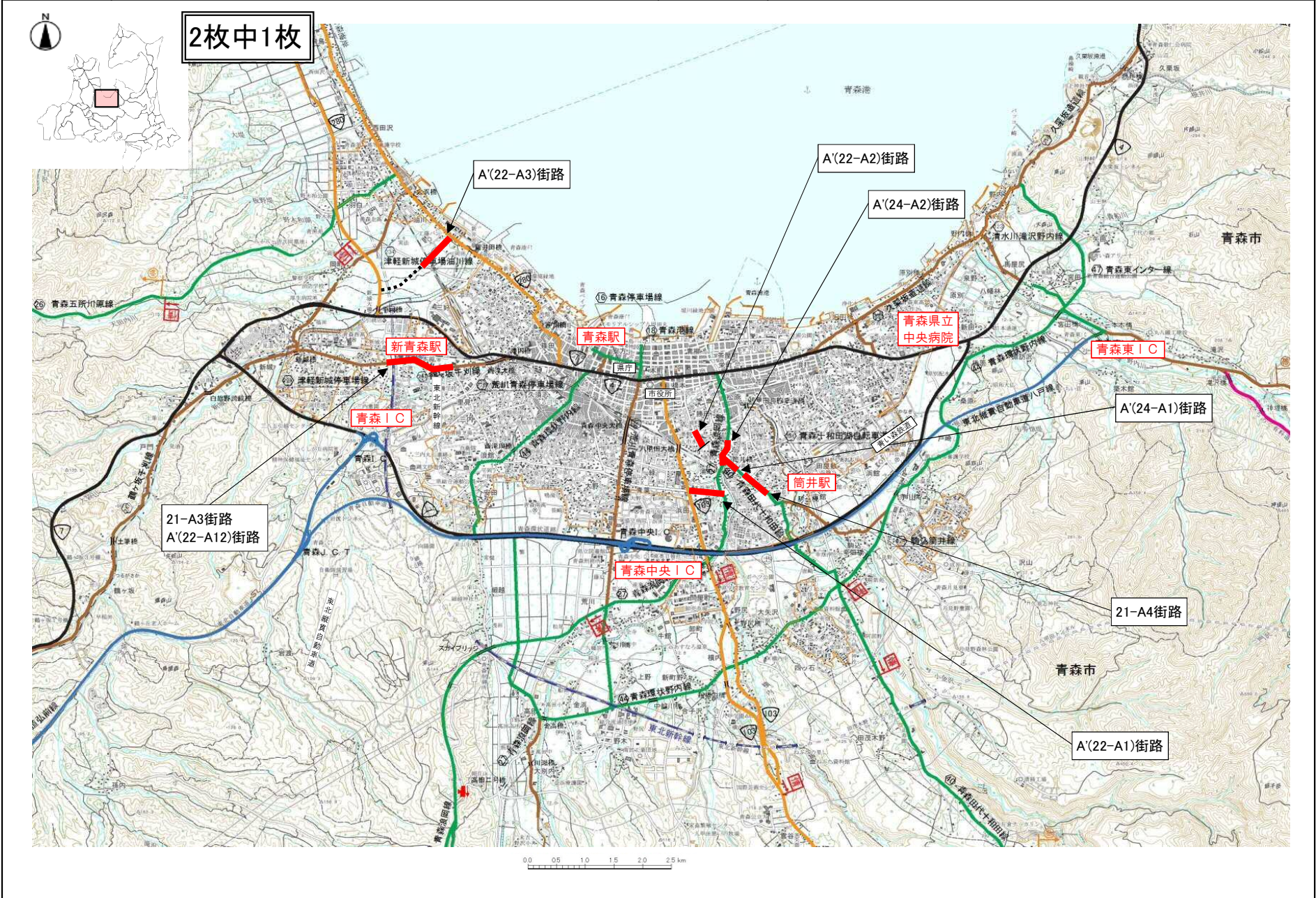
(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	530	393	296	348	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	83	
交付額 (c=a+b)	530	393	296	265	
前年度からの繰越額 (d)	0	173	226	163	
支払済額 (e)	357	340	359	339	
翌年度繰越額 (f)	173	226	163	89	
うち未契約繰越額(g)	32	63	0	43	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	6.03	11.13	0	9.95	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		支障物件の移転に時間を要したため、工事時期が遅れが生じたことによる	下部工工事の仮締切工において、障害物撤去に不測の日数を要し、工事に遅延が生じた事による		

(参考様式3)

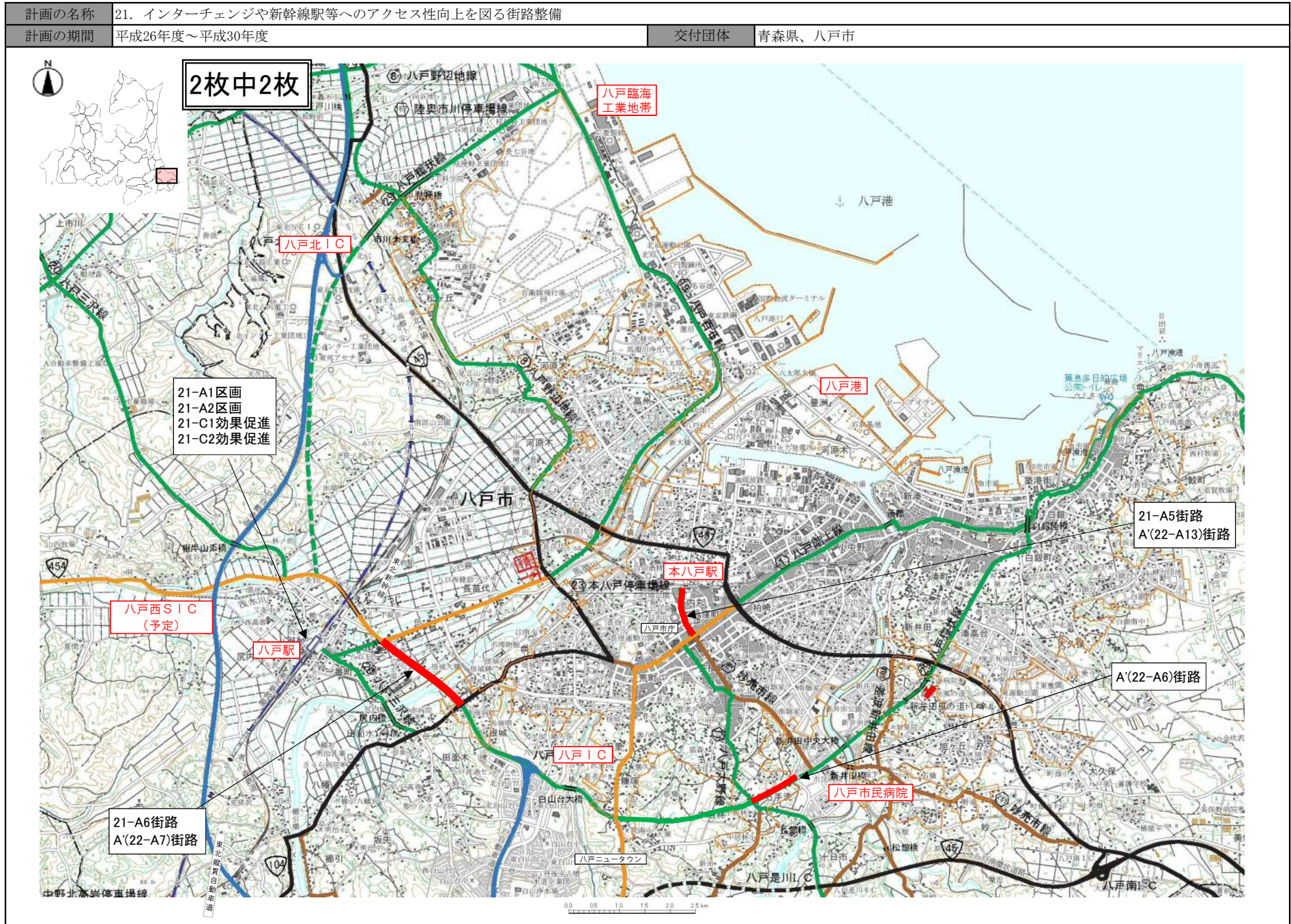
(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	21. インターチェンジや新幹線駅等へのアクセス性向上を図る街路整備
計画の期間	平成26年度～平成30年度
交付団体	青森県、八戸市



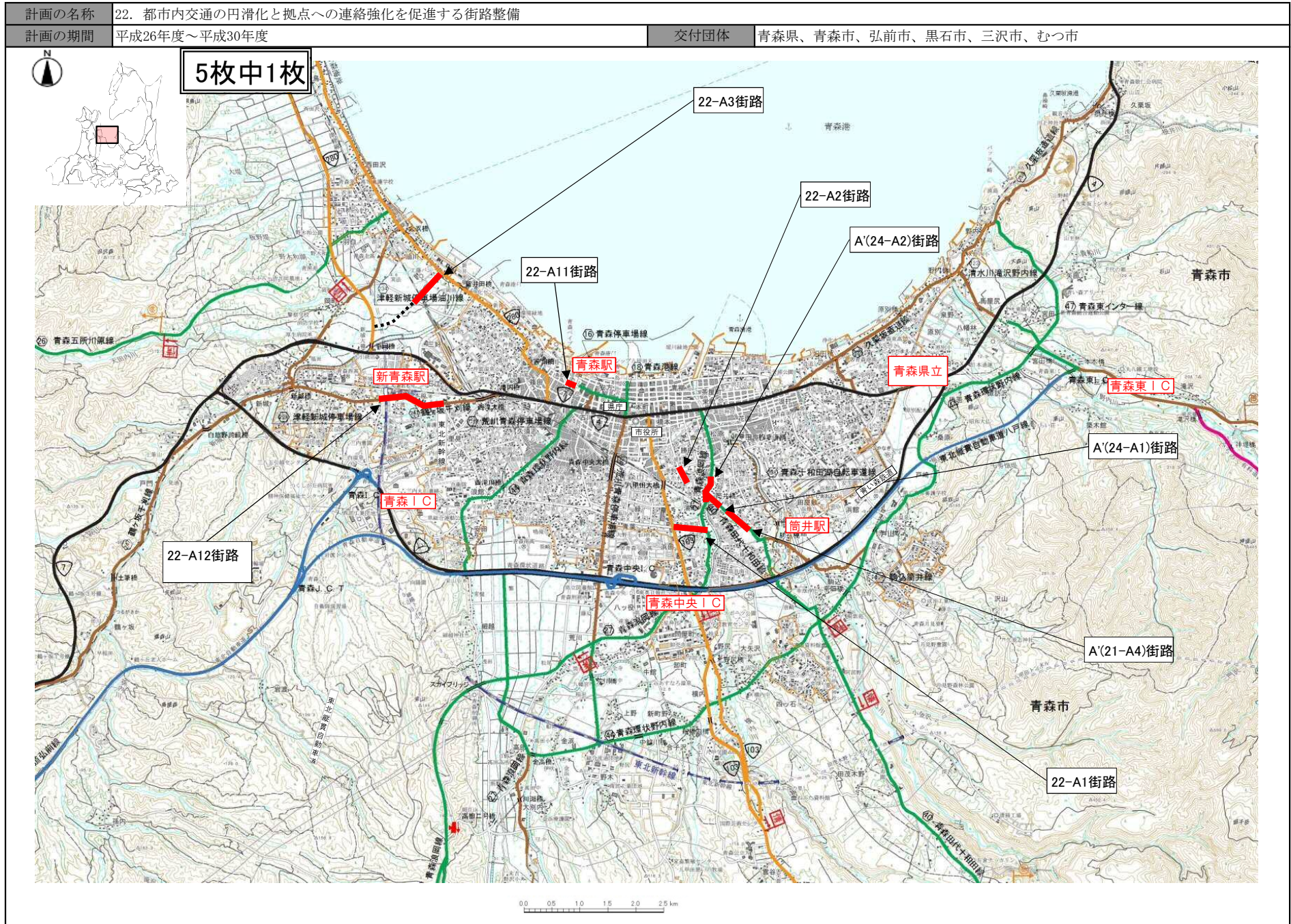
(参考様式3)

(参考図面) 社会資本総合整備計画



(参考様式3)

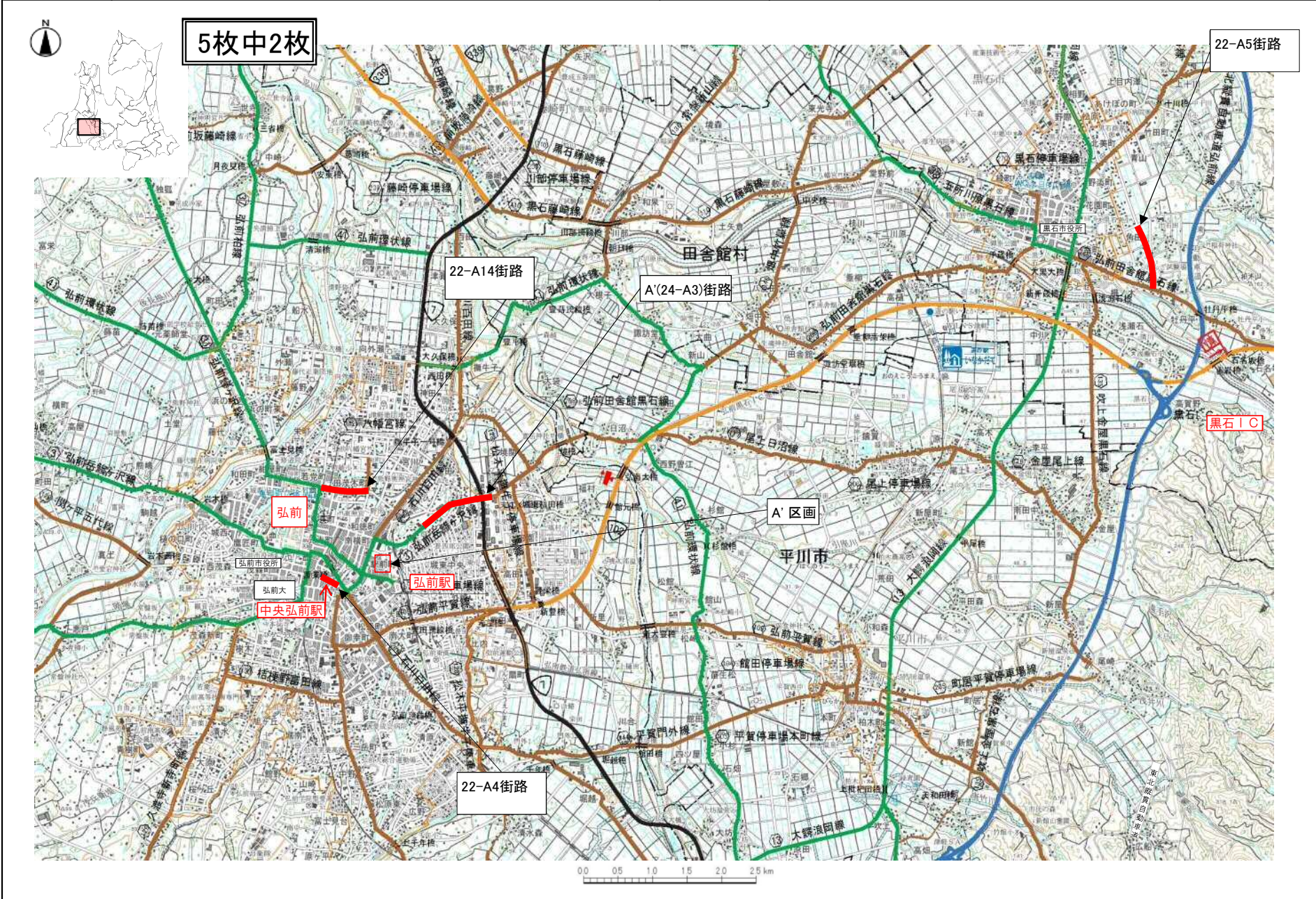
(参考図面) 社会資本総合整備計画



(参考様式3)

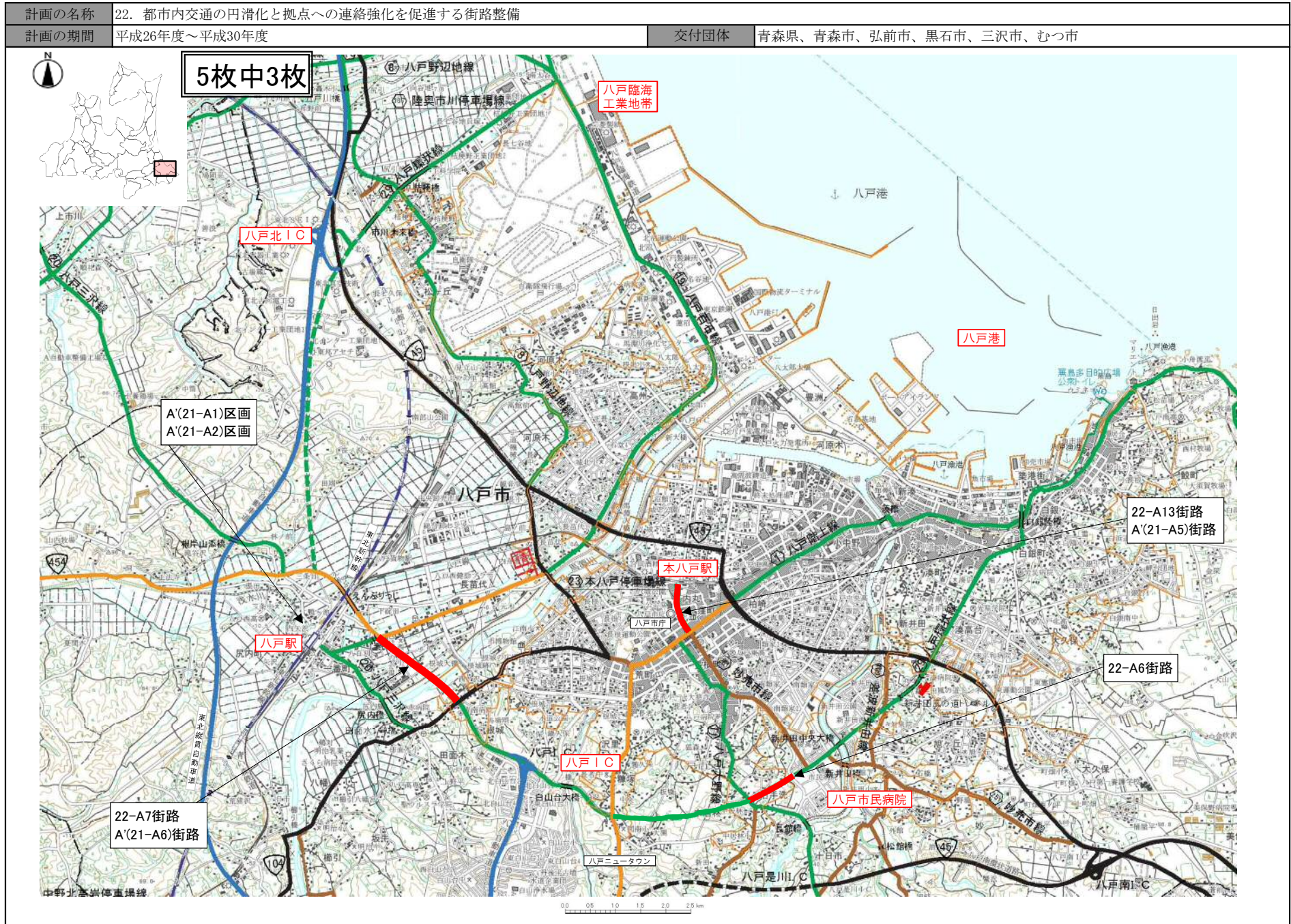
(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	22. 都市内交通の円滑化と拠点への連絡強化を促進する街路整備
計画の期間	平成26年度～平成30年度
交付団体	青森県、青森市、弘前市、黒石市、三沢市、むつ市



(参考様式3)

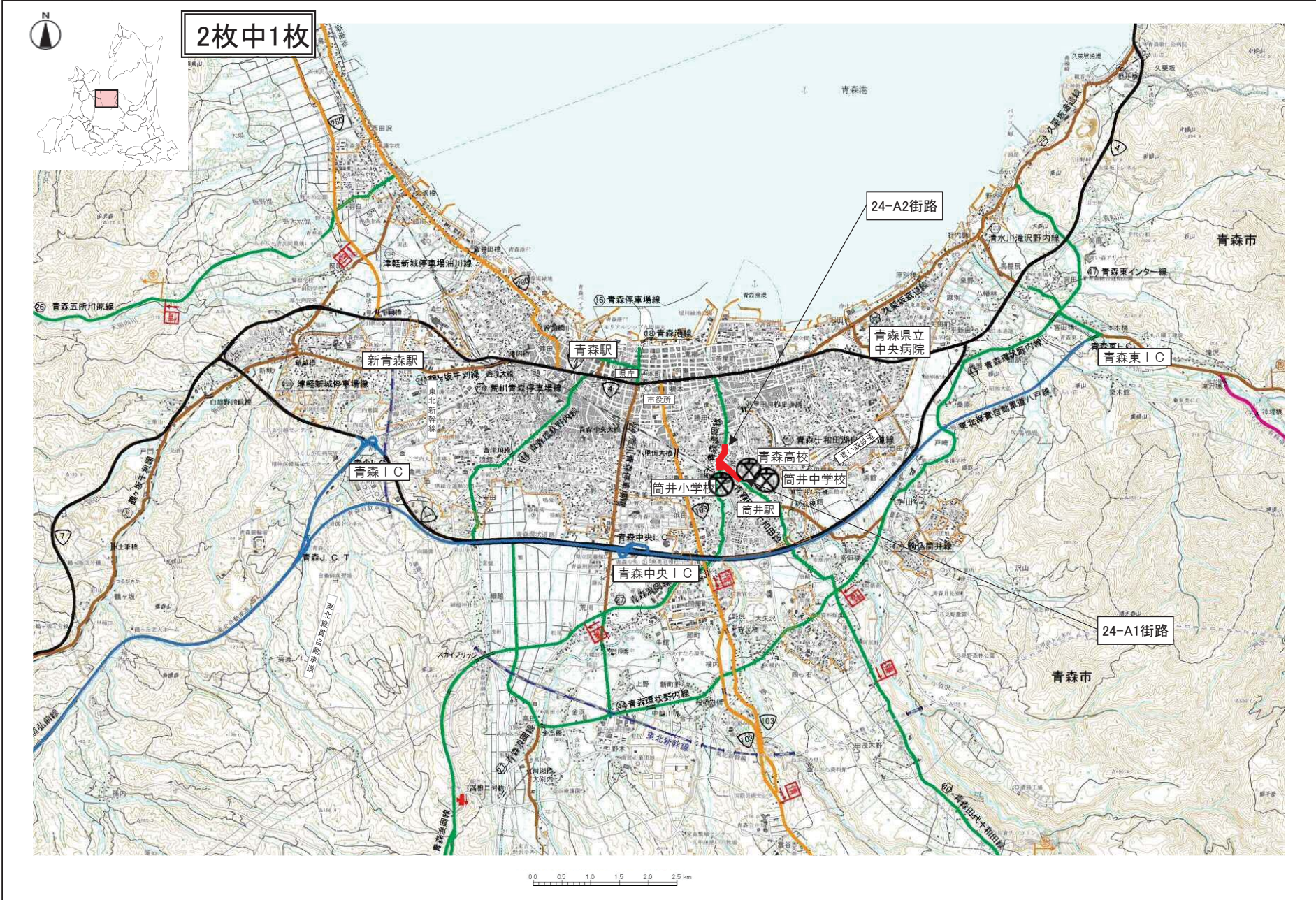
(参考図面) 社会資本総合整備計画



(参考様式3)

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	24. 通学路の安全を確保する街路整備 (防災・安全)
計画の期間	平成26年度～平成30年度
交付団体	青森県



(参考様式3)

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	24. 通学路の安全を確保する街路整備 (防災・安全)
計画の期間	平成26年度～平成30年度
交付団体	青森県

